

# C T 検 査 説 明 書

## 放射線 科

## 様

20 年 月 日 曜日 来院時間 時 分

検査予定時間 時 分

- この検査はX線を使って体内の多断層像をコンピュータ解析により画像化する検査です。  
X線を用いることにより、診断・検査を進める上で重要な情報が得られます。  
この検査で用いるX線は必要最小限に調整され、通常はX線による健康被害の心配はありません。
- ★ 必要に応じて、造影剤を使用して検査を行う場合があります。
- ◎ おくすり手帳をお持ちの方は、持参して下さい。

### 検査注意点

- ・ 内服薬については、直接 主治医に確認して下さい。
- ・ 妊娠している方、または可能性のある方は検査できないことがあります。  
事前に主治医にご相談下さい。

- ・ 駐車場が大変混み合うことがあります。お車の方は、余裕をもってお出かけ下さい。
- ・ 事情により予約時刻より開始時間がずれる場合があります。ご了承下さい。
- ・ 都合が悪くなった方は、早めに受診外来にご連絡下さい。

- ◆ 予約に関する問い合わせ、変更は 15 : 00～16 : 00 に各受診外来へご連絡下さい。
- ◆ 検査後、異常が起きたら下記にご連絡下さい。

TEL (055) 952-1000 (代表)

沼津市本字松下七反田902-6 聖隷沼津病院

ヨード造影剤使用に関する説明および同意書 (患者様用)

【造影剤についての説明】

今回実施する X 線検査 (CT を含む) は“ヨード造影剤”という薬の注射をする場合があります。(しない場合もあります。)

造影剤は X 線検査で病気の有無や病気の性質、範囲といったことをより正確に評価するために用いられるものです。造影剤を使うかどうかは検査の部位や目的によってさまざま、検査に応じて主治医または当院放射線科医師が判断致します。造影剤を使うとまれに副作用が起こることもあります。副作用の種類は次のようなものです。

1. 軽い副作用：吐き気、動悸、頭痛、かゆみ、くしやみ、発疹などです。検査の 1～2 日後に発疹が現れることもあります。これらは治療を要さないか、1～2 回の投薬や注射で回復するものです。このような確率は 5% 以下です。
2. 重い副作用：呼吸困難、意識障害、血圧低下、腎不全などです。このような副作用は、入院の上治療が必要で、場合によっては後遺症が残る可能性があります。このような確率は、約 6,000～9,000 人につき 1 人、0.01～0.02% です。
3. 病状・体質によっては約 10～20 万人につき 1 人の割合 (0.0005%～0.001%) で、死亡する場合があります。
4. 造影剤を注射する時には、体が熱くなることがありますが、直接の刺激であり心配ありません。また勢いよく造影剤を注入するために、血管外に造影剤がもれることがあり、その際は痛みを伴うこともありますが、基本的には時間がたてば吸収されて心配ありません。

当院では検査中の万一の副作用に対してもすばやく対応ができるようにした上で、検査を行っています。造影中や造影後に気になる症状があれば、すみやかに検査担当者にお申し出ください。

※以下の項目、症状あるいは病名に該当する場合、造影検査を施行できないか、あるいは副作用の頻度が高くなったり、既存の病状が強くなる可能性がありますので、検査説明は検査当日までに主治医にご確認ください。

- ・過去の造影剤副作用歴
- ・アレルギー体質
- ・低栄養、脱水
- ・糖尿病薬服用 (メトグルコ等のビグアナイド系薬剤)
- ・ヨードアレルギー
- ・急性腎炎
- ・褐色細胞腫
- ・喘息
- ・重い心障害、肝障害、腎障害
- ・多発性骨髄腫

上記について説明しました。 説明日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 説明医師 \_\_\_\_\_

画像診断上、必要な場合には、ヨード造影剤の注射を受けることに

- ・同意します
- ・同意しません

聖隷沼津病院 病院長 殿

署名年月日：\_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

本人署名欄：\_\_\_\_\_ (自筆署名、押印不要)

親族/代理人：\_\_\_\_\_ 続柄：\_\_\_\_\_ (本人同意不可・未成年の場合記入)